Trywin

ワイヤレスチャイム送信機

IFC-A808

取扱説明書

（保証書付き）

このたびはトライウインワイヤレスチャイム送信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- このワイヤレスチャイム・オプション増設用送信機（IFC-A808）は、別売のワイヤレスチャイム（IFC-808）に追加増設して使用するための送信機です。この製品単独ではご使用になれません。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に『安全上のご注意』は、ご使用の前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せるところに下記の『保証書』とともに大切に保管してください。

株式会社トライウイン

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警 告

- **当社指定の送信機・受信機の組み合わせで使用する。**
  指定以外の組み合わせや他社製品との組み合わせでは使用しないでください。正しく送受信ができません。

- **乾電池はアルカリ単3形電池を使用する。**
  本機は単3形アルカリ電池専用です。他の電池は使用しないでください。火災や故障の原因となります。

- **報知または連絡用に使用する。**
  本機は報知・連絡用に設計されています。犯罪防止や生命にかかわる緊急呼び出しなどの用途にはお使いいただけません。

- **充電式電池は使用しない。**
  本機は単3形アルカリ電池専用です。充電式電池は使用しないでください。本機の不動作や火災や故障の原因となります。
- **分解や改造をしない。**
  火災・感電・故障の原因となります。（分解禁止）

- **水が入ったら使用しない。**
  万一、本機の内部に水などが入った場合は、まず機器本体から電池を抜いてサポートセンターにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- **落としたり、破損したら使用しない。**
  万一、本機を落としたり、破損した場合は、まず機器本体から電池を抜いて電源を切ってサポートセンターにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

- **送信機は長時間水に濡らさない。受信機は濡らさない。**
  送信機は IPX7 相当の防水構造になっていますが、長時間送信機を水で濡らしたり、水につけたり、水道やシャワーなどの水流を長時間直接かけないでください。また、温水や界面活性剤などが入った水の中に浸けないでください。火災・感電・故障の原因となります。（水濡れ禁止）

- **水などの入った容器、または小さな金属物を置かない。**
  こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注 意

- **振動の多いところや不安定な場所に取り付けない。**
  傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、使用中に落下するなどして怪我や破損の原因となることがあります。

- **付属のホルダーとネジでしっかり取り付ける。**
  外れたり落下しないように付属のホルダーとネジでしっかりと取り付けてください。付属以外のホルダーやネジを使うと、使用中に落下するなどして怪我や破損の原因となることがあります。

- **改造はしない。**
  本機の改造・分解は、電波法で禁止されていますので絶対に行わないでください。改造した機器を使用した場合、電波法により罰せられますのでご注意ください。（分解禁止）

- **証明ラベルははがさない。**
  本機は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則（証明規則）第 2 条 8 号「工事設計の認証（認証）を受けた無線局」です。本機の背面に貼られている証明ラベルは絶対にはがさないでください。はがすと電波法上無線機とは認められなくなり、使用できなくなります。

- **国内専用です。**
  国外では使用できませんのでご注意ください。

- **使用を禁止された場所では、電源を切る。**
  航空機内、空港敷地内、新幹線車両、病院などの使用を禁止された場所では、機器本体から電池を抜いて電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。また、心臓のペースメーカーを使用されている人の近くでは使用しないでください。

- **お手入れの際は、電源を切る。**
  お手入れの際は安全のため、機器本体から電池を抜いてください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。

- **湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かない。**
  火災・感電・故障の原因となることがあります。

- **乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。**
  特に付属のビスや外したビスの取り扱いに注意してください。
  また、万一飲み込んでしまった場合はすぐに医師に相談してください。

免責事項

本製品の使用または使用できなかったことによって生ずる付随的な損害に関して、当社は一切の責任をおいかねますのでご了承ください。

トライウイン・サポートセンター

TEL：(0570)-030-100

E-mail: support@trywin.co.jp

受付時間：月曜日～金曜日　10:00 ～ 18:00
（祝日および当社の休日を除く）

特徴

- 申請は不要です[※1]。お買い上げ後、電池を入れていただくと、すぐにお使いいただけます。
- 簡単な設定[※2]で、現在お使いのワイヤレスチャイムに新しい送信機として追加していただけます。
- 見通し距離で約 50 mの範囲で送信受信ができます。[※3]
- 通常の呼び出しと急用時の呼び出しと音を変えてお知らせします。
- 応答機能で呼び出した人にお知らせします。
- 受信機 1 台で送信機を 4 台まで増設可能!

※1 ごく稀に設定が同じ受信機が近くにある場合は、送信機の設定を変更する必要があります。その際には「設定方法」の「送信機の登録を変える」をご覧ください。
※2 追加で購入された送信機は、送信機の送信番号を設定する必要があります。その際には「設定方法」の「送信機の登録方法」をご覧いただき、送信番号を設定してください。
※3 建物の中や遮蔽物が多い場所では、送信受信できる距離は短くなることがあります。

商品構成

- 送信機.................................. 1 台
- 送信機ホルダー.................. 1 個
- 送信機ホルダー取り付け用両面テープ.......................... 2 枚
- 取り付け用ネジ.................. 3 本（1 本は予備用）

仕　様

電池寿命	約 2 年（アルカリ電池にて 1 日 10 回使用） ※使用する環境などによって変わる場合があります。
音量	約 65dB
周波数	313.625MHz（特定小電力機器）
電波到達距離	見通し約 50m
ID コード	24 万通り以上
寸法	126（W）×92（H）×44（D）mm　質量 約 115g（電池含まず）
使用温度	0℃～ 40℃

※製品の仕様は改良の為、予告なく変更することがございますので、あらかじめご了承ください。

各部の名称

送信機　[IFC-A808]

① 電源 / Call ランプ
- 通常は緑色に点滅します。
- 通常の送信時は赤色が点滅し、受信機の応答ボタンが押されると橙色が点灯してその後緑色の点滅に戻ります。
- 急ぎ時の送信は赤色が点滅し、受信機の応答ボタンが押されると橙色が点灯してその後緑色の点滅に戻ります。
- 電池の交換時期になると、赤色に点滅します。（約 4 秒間隔）

② 呼び出しボタン
- 通常の呼び出し時に押します。

③ 急ぎボタン
- 急ぎで呼び出すときに押します。

④ ホルダー

⑤ ホルダーロック

ランプの点灯・点滅について

緑色点滅	通常状態
赤色点滅	呼び出し中
橙色点灯	呼び出し確認信号受信
赤色点滅（約 4 秒間隔）	電池交換時期

ご使用上の注意

このワイヤレスチャイム・オプション増設用送信機（IFC-A808）は、別売のワイヤレスチャイム（IFC-808）に追加増設して使用するための送信機です。この製品単独ではご使用になれません。

電波の到達距離は直線の見通し距離で約 50m です。下記の様な場合は、電波の到達距離が短くなったり、動作しない場合があります。
- 電波を発信しているものが近くにある。
  テレビやラジオの送信局または中継局、アマチュア無線や業務用無線のアンテナが近くにある場合。
- 金属製のもので遮蔽されている場合。
  金属製のドアまたは鉄筋コンクリート、壁面に金属素材を含む建材が使用されている場合。
- 発電機や直流モーター、高圧電線など電波的なノイズを発生するものが近くにある場合。
- 携帯電話や無線を使った製品（ワイヤレスマイク、無線 LAN 等）または電波を発したり漏れる可能性がある家電製品やパソコン、OA 機器が近くにある場合。

1 つの周波数を使用していますので、2 台以上の送信機が同時に動作した場合、受信機が動作しない場合があります。

ご使用の際は、送信機と受信機を1m以上離してご利用ください。正しく動作しない場合があります。

⚠ 注 意

- 初めて送信機をお使いになる前に、送信機番号を登録する必要があります。裏面の「送信機の登録方法」をご覧になり送信機番号を登録してください。

電池の入れ方

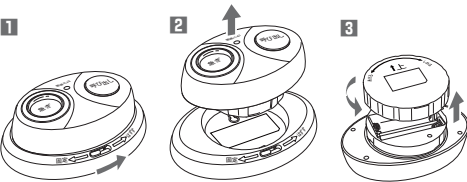
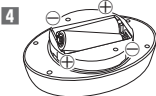
⚠注意

- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 充電式の電池は使わないでください。
- 電池の極性(+、−)はよく確かめて、正しく入れてください。
- 長時間ご使用にならない場合は電池を取り外してください。
- 電池は充電しないでください。
- 使い終わった電池は火中に投げ込まないでください。
- 電池を廃棄する際は、各地方自治体の指示に従って廃棄してください。

送信機

1 ホルダーのロックを「はずす」側にスライドする

2 ホルダーから送信機を外す

3 電池ケースカバーを反時計方向に回す

4 電池の極性(+、−)を確かめて、電池を正しく入れる

5 電池ケースカバーを時計方向に回して、しっかりと締める

- ▶と◀を合わせるように締めてください。

⚠注意

- 電池ケースカバーは、正しくしっかりと締めてください。正しく締められていないと防水性が低下します。

6 送信機を少し斜めにして上側からホルダーに入れ、次に下側を入れてホルダーに取り付け、ロックを「固定」側にスライドする

⚠注意

- ビスは必ず取り付けられていたビスを使用してください。違うネジを使うと、機器内部を破損したり、電池カバーが取り付けられないことがあります。
- 電池ケースカバーは、正しくしっかりと締めてください。正しく締められていないと防水性が低下します。

送信機の取り付け方法

⚠注意

- 設置を行う前には、あらかじめ動作確認を行って、送受信ができることを確かめてから設置してください。設置後の周囲の変化により、電波状況がかわることがあります。1日1回程度は動作確認を行い送受信ができることを確認してください。
- 建物の構造や建材により、電波に反射や回り込みがおこることがあります。このことにより、電波が弱められて、送受信ができる距離が短くなることがあります。送信機または受信機の位置や向きを変更することで、この現象が収まることがあります。

両面テープを使用する

取り付けネジを使用できない壁面の場合は、付属の両面テープを取り付けホルダーの裏側に貼り付けて固定します。

⚠注意

- お風呂場やシャワールームなど、水がよくかかる場所では、両面テープでの設置は行わないでください。
- 両面テープは非常に強力に接着します。貼り付ける前には、動作確認とその場所に設置しても問題が無いかを十分に確認してください。
- 両面テープを貼り付ける場所は、あらかじめホコリや油汚れ、水滴などをきれいにふき取ってください。貼り付ける場所が汚れていると充分に貼り付けることができません。
- 両面テープを貼り付ける場所は、平らで凹凸の無い場所を選んでください。
- 両面テープを貼り付けた直後は充分に接着していないことがあります。無理な力や熱、水がかからないようにしてください。充分に接着されていることを確認してから、送信機を取り付けてください。

取り付けネジを使用する

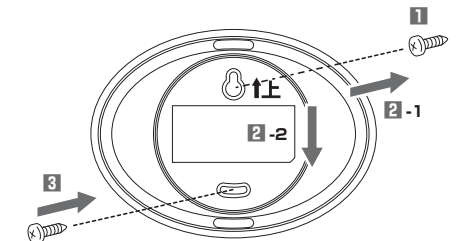
⚠注意

- 取り付けるネジは、必ず付属のネジを使ってください。他のネジを使うとホルダーの破損や落下する原因となることがあります。
- ネジを取り付ける前に、取り付ける場所の強度が十分にあるか確認してください。特に石膏ボードに取り付ける場合は、ネジが取り付けられるように、石膏ボードに事前の処理を行ってから取り付けてください。
- ネジを取り付ける壁の裏に配線が無いことを確かめてから、ネジを取り付けてください。

1 取り付ける位置を決め、上側のネジを緩めに取り付ける

2 **1**で取り付けたネジに送信機ホルダーを通した後に、送信機ホルダーを下側にスライドする

3 下側のネジを緩めに取り付け、送信機ホルダーの角度を調整する

4 位置の調整が終わったら、上下のネジを固定する

操作方法

	送信機	受信機（※受信機は別売りです。）
1	**通常時**	
	呼び出しボタンを押す ●電源 / Call ランプが点滅します。	 ●呼ばれた送信機の番号が点滅します。 ●スピーカーより呼び出し音が鳴ります。
	急用時	
	急ぎボタンを押す ●電源 / Call ランプが点滅します。	 ●呼ばれた送信機の番号が点滅します。 ●スピーカーより呼び出し音（急用）が鳴ります。
2	 ●応答確認後、電源 / Call ランプが橙色で点灯し、同時にビープ音が鳴ります。	応答ボタンを押す ●約1分間で呼び出し音は停止します。 ●送信機を複数、登録している場合は、必ず呼び出し番号を確認のうえ、応答ボタンを押してください。

設定方法

送信機の登録方法

初めて送信機をお使いになる前に、送信機番号を登録する必要があります。以下の方法で送信機番号を登録してください。

1 受信機の応答ボタンを5秒以上押す

- 1番の呼び出しランプが点滅します。

2 応答ボタンを押す毎に、呼び出しランプが順次点滅していくので、登録したい番号を選ぶ

- 呼び出しランプが押される毎に、次の順で呼び出しランプが点滅していきます。
  1番→2番→3番→4番→1番
- 長押しはしないでください。

3 受信機の呼び出しランプが点滅している間に送信機の呼び出しボタンを5秒以上押す

4 受信機と送信機からビープ音が鳴ることを確認する

- 受信機の呼び出しランプの点滅が終了します。
- これで、送信機の登録は終了です。

⚠注意

- 通常使用時には、呼び出しボタンを5秒間以上連続で押さないでください。正しく動作しない場合があります。
  その場合は、再度「送信機の登録」をおこなってください。
- 送信機と受信機のボタンを同時に押さないでください。正しく動作しない場合があります。

送信機の登録を変える

同じ設定の受信機が近くにあり、混信してしまった場合、混信している送信機の登録を変更する必要があります。

1 受信機の応答ボタンを5秒以上押す

- 1番の呼び出しランプが点滅します。

2 さらに応答ボタンを5秒以上押す

- ビープ音が鳴り、呼び出しランプが点滅します。
- 送信機の登録が全て解除され、新規に登録待ち状態になります。

故障かなと思ったら

症状	原因と処置
電源ランプが点灯していない	電池が切れています。電池を交換してください。
	電池が正しく入っていません。電池の向きを確認してください。
呼び出しできない、または応答できない	電池が切れています。電池を交換してください。
	送信機を追加した場合は登録が必要になります。（参照：「送信機の登録方法」）
	表面の「ご使用上の注意」をよくお読みください。
	同時に複数の送信機で呼び出しが行われた可能性があります。少し時間を開けて再度呼び出しを行ってください。
	送信機と受信機を同時に押していませんか？ 同時に押された場合は、正しく動作しない事があります。
混信が起こる	近くに同じ設定の受信機があります。受信機の設定を変えてください。（参照：「送信機の登録を変える」）